

福井県高速交通開通 アクション・プログラム

別冊 (エリア別プロジェクト集)

平成28年3月

趣 旨

この冊子は、「高速交通開通アクション・プログラム」に掲げた基本戦略を実行に移すため、エリア別に具体的なプロジェクトをとりまとめたものです。

県民が個々のプロジェクトを認識・共有できるようにするため、その実施主体、場所、事業費、事業期間、事業内容を、地図や工程表などにより分かりやすく図解しています。

各プロジェクトは、完成までに長期間を要する大規模事業が中心ですが、その整備効果を一年でも早く発揮できるよう長期的見通しをもって計画的に進めます。当面は、福井国体や東京オリンピックの開催など国内外から多くのひとが訪れる機会が続くことから、それぞれの節目にあわせて二次交通の拡充、都市や地域の基盤づくりなどを進めます。

こうした新しい基盤を活かすため、「福井県観光新戦略」や「福井経済新戦略」などに掲げる関連施策を一体的に実施します。

なお、この冊子は各プロジェクトごとに、これまでの施策の成果および平成28年度に実行する内容などをまとめたものです。北陸新幹線敦賀以西ルートへの決定や新幹線沿線各県における効果と影響など、今後の状況変化に応じて継続的に見直し、再開発事業など民間のプロジェクトも含めて追加・充実していきます。

県内外の主要日程・主なアニバーサリー（周年）

平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度～
中部縦貫道延伸 (永平寺大野道路)		福井国体開催		東京オリンピック開催		新幹線敦賀開業※1 中部縦貫道開通※2	
丸岡城築城440年 福井城築城410年	白山開山1300年	明治維新150年	敦賀港開港120年	置県140年 恐竜博物館開館20年 越前大野城築城 440年	一乗谷城下町建設 550年 蓮如、吉崎の坊舎 建立550年	敦賀港線開通140年 欧亜国際連絡列車 開通110年	あわら温泉開湯140年(H36)

※1 「整備新幹線の取扱いについて」(H27.1.14政府・与党申合せ) ※2 国に対して要請中

— 目 次 —

I 新幹線開業対策

I－1	福井駅周辺エリア	1
(1)	福井駅および駅周辺のまちづくり	(3)
(2)	県都デザイン戦略の新展開	(4)
(3)	一乗谷ミュージアム化の推進	(6)
(4)	永平寺門前の再構築	(7)
(5)	越前海岸の周遊観光ルート化	(9)
I－2	芦原温泉駅周辺エリア	11
(1)	芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり	(13)
(2)	あわら温泉街のまちなみ形成	(14)
(3)	東尋坊の景観形成	(15)
(4)	三国湊の町家活用	(16)
(5)	パイプライン活用型の農業・園芸の拡大	(17)
I－3	南越駅（仮称）周辺エリア	19
(1)	南越駅（仮称）および駅周辺のまちづくり	(21)
(2)	越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり	(22)
(3)	コンパクトな鯖江のまちづくり	(23)
(4)	伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化	(24)
(5)	南条SAの集客力の活用	(25)
(6)	今庄宿の歴史空間の再生	(26)
(7)	里山里海湖の保全・活用	(27)
I－4	敦賀駅周辺エリア	29
(1)	敦賀駅および駅周辺のまちづくり	(31)
(2)	金ヶ崎周辺整備構想の実現	(32)
(3)	三方五湖の自然と歴史の活用	(33)
(4)	園芸・水産の研究と生産の拠点化	(34)

Ⅱ	高規格幹線道路開通対策	
Ⅱ－１	中部縦貫自動車道周辺エリア	３５
	（１）アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	（３８）
	（２）恐竜渓谷１００万人構想の実現	（３９）
	（３）白山平泉寺および越前禅定道の再生	（４１）
	（４）歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生	（４２）
	（５）六呂師高原の活性化	（４３）
Ⅱ－２	若狭さとうみハイウェイ周辺エリア	４５
	（１）アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	（４８）
	（２）日本遺産「御食国若狭と鯖街道」のレベルアップ	（４９）
	（３）里山と里海湖の観光ビジネスの強化	（５０）
Ⅲ	広域プロジェクト・ソフト施策	５１
	（１）地域公共交通ネットワークの拡充	（５２）
	（２）里山里海湖ビジネスの拡大	（５３）
	（３）日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信	（５４）
	（４）里山里海湖の景観の保全・活用	（５５）
Ⅳ	市町等の応援方策	５６
	【参考】エリア別プロジェクトの体系	５７
	資料編	５９

凡 例

- ※ 黒字は着手済みの事業
- ※ 赤字は28年度予算の新規事業等
- ※ 青字は、今後の検討課題

県および市町の28年度
実施事業の内容

I-1 新幹線開業対策 福井駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・県都デザイン戦略の第2期プロジェクトの具体化と実行(福井城址公園の整備、都市インフラのリニューアルなど)
- ・中世歴史遺産(一乗谷朝倉氏遺跡、永平寺門前)の魅力向上の加速化
- ・福井駅と周辺の拠点を結ぶ二次交通の強化

県都デザイン戦略の実行 (P4~5)

福井城址を核に、歴史を活かした県都のまちづくりを実行

- ・山里口御門の復元
- ・中央公園の再整備
- ・グリフィス記念館の整備
- ・由利公正広場の整備 など

福井駅周辺の整備 (P3)

福井駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・福井駅西口・東口広場、再開発ビルの整備
- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ
- ・えちぜん鉄道の高架化
- ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸 など

越前海岸の周遊観光ルート化 (P9)

越前海岸ラインを新しい観光ルートとしてネットワーク化

- ・北前船主館群の景観整備
- ・金ヶ崎周辺の整備
- ・里山里海湖の景観保全 など

広域道路等の整備促進

- ・国道8号 福井バイパス
- ・国道364号 永平寺インター道路
- ・国道158号バイパス
- ・道の駅「禅の里」など

松岡地区のまちづくり (P8)

「禅」、「食」、「酒」をテーマとしたまちづくりを実行

- ・観光交流施設(拠点)の整備

永平寺門前の再生 (P7)

本物の禅の心につれる体験観光の充実やまちなみの整備

- ・宿泊施設や観光案内所の整備
- ・旧参道や永平寺川の景観形成 など

一乗谷朝倉氏遺跡のレベルアップ (P6)

日本最大の戦国城下町跡として、「一乗谷ミュージアム」化を推進

- ・新たな博物館の整備
- ・山城部の環境整備や露出展示の実施
- ・展望所の整備や無電柱化の拡大
- ・中世都市遺跡研究の拠点化 など



○主な関連事業の年次計画

※ 黄色矢印は、新幹線開業後も継続

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
福井駅	鉄道・運輸機構	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎設計			駅舎整備		試験運転等	
	県 約115億円	えちぜん鉄道の高架化							
	福井市	駅東口広場等の整備							
	民間	市内循環路線、二次交通の充実							
県都デザイン	県 約3億円	山里口御門							
	県	福井城址の復元・整備							
	福井市 約9億円	中央公園、市道県庁線等の整備							
	福井市	白山展望テラス(自然史博物館)の活用							
一乗谷朝倉氏遺跡	県・福井市	新博物館の整備							
	県	中世都市遺跡研究の拠点化							
	県・福井市	特別名勝庭園の再生							
	県・福井市	遺跡の露出展示の推進							
永平寺	民間 約13億円	宿泊施設の整備							
	県・永平寺町 約8億円	旧参道の整備、永平寺川の修景							
	県 約1億円	永平寺インター道路の整備							
広域	県・市町	周遊・滞在型観光エリアの形成							
	県・国	広域道路の整備促進							

1-1(1) 福井駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・福井市・民間	場所	福井市
事業費	約148億円～	期間	～H30

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・駅西口広場、再開発ビルの整備(市、H27) ・自然史博物館分館(プラネタリウム等)の整備(福井市、H27) ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ(民間、H27～) ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸(民間、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) ・駅東口広場等の整備(市、～H30) ・えちぜん鉄道の高架化(県、～H30) ・個店の改修等への支援(県・市、～H29) ・福井駅・城址周辺地区での再開発(民間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間による新幹線高架下の有効活用 ・公共施設の再配置等による市中心部への都市機能の再集約 ・民間の再開発事業にあわせた歩行者と鉄道が共存できる空間や市内循環鉄道の整備の検討

駅西口広場や西口再開発ビル整備に続き、えちぜん鉄道の高架化など、新幹線延伸に向けて福井駅周辺を整備します。また、老朽化ビルの更新やリノベーションへの民間投資を促進し、県都の賑わいづくりを推進します。



出所 福井県作成、福井市提供

※区域は概ねの位置を示したものの

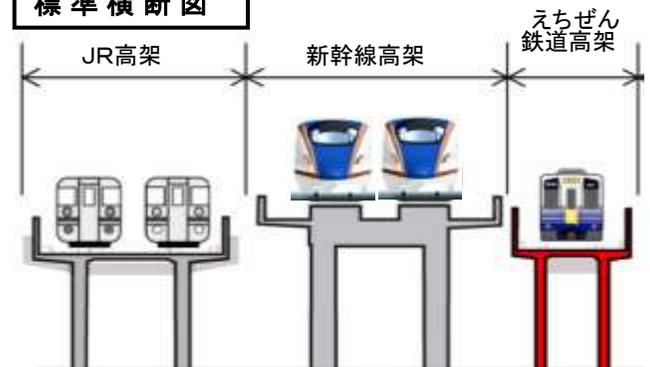
○28年度実施事業【福井県】

- ・えちぜん鉄道高架工事(H24～H30)
(福井駅付近連続立体交差事業 6,640,600千円)
- ・福井市が行う駅東口広場等の整備支援
(福井駅周辺土地区画整理支援事業 46,227千円)
- ・個店の改修等の支援
(おもてなし商業エリア創出事業 99,381千円の内数)

○28年度実施事業【福井市】

- ・優良建築物等の整備支援、駅東口広場等の整備
(優良建築物等整備支援事業 889,400千円)
(福井駅周辺土地区画整理事業 937,577千円)

標準横断面



1-1(2) 県都デザイン戦略の新展開

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	約12億円～	期間	～H30

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・天守台跡、散策路の整備(県、H18) ・御廊下橋の復元(県、H19) ・まちづくりガイドラインの策定(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山里口御門の復元(県、～H28) ・中央公園の再整備(市、～H30) ・市道県庁線等の整備(市、～H29) ・福井城址公園整備構想の検討(県、～H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の福井城址内の天守閣や櫓等の復元整備の検討、城址公園エリアの拡大 ・福井駅・城址周辺地区の緑のシンボル軸の形成

福井城址は、「68万石の城下町福井」を象徴する重要な歴史資源です。これを県都の新たなシンボルとするため、専門家による懇話会を設置し、本丸エリアを中心にした福井城址公園の整備構想の検討を開始します。

あわせて「緑のシンボル軸」の形成により、緑あふれる県都を実現します。



山里口御門の復元、福の井の再整備



市道県庁線と連続した歩行者空間の整備

○28年度実施事業【福井県】

- ・山里口御門の整備、「福の井」の再整備、中央公園周辺整備への支援等の実施 (県都デザイン戦略推進事業 539,874千円)

○28年度実施事業【福井市】

- ・中央公園の再整備、城址周辺の道路空間の整備、養浩館庭園の庭カフェ等の実施 (中央公園周辺再整備事業など 510,847千円)

福井城址



中央公園の再整備(西側からの鳥瞰図)

出所「県都デザイン戦略」(福井県、福井市)、「福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン(素案)」(福井市)、「中央公園周辺再整備基本計画」(福井市)より

県都デザイン戦略〔まちなか観光の推進〕

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	継続実施

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・由利公正広場の整備(県、H25) ・グリフィス記念館の整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰舟体験の継続的实施(県、H27～) ・足羽山魅力向上計画の策定(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・白山展望テラス(自然史博物館)の利活用、四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用

福井の歴史文化を学ぶ機会として「毛矢の繰舟」体験を継続的に実施し、幕末の偉人ゆかりの場所を回遊する散策ルートの魅力づくりを推進します。



〇28年度実施事業【福井県】

- ・足羽川での繰舟体験の実施 (足羽川の利活用促進事業 6,975千円)

〇28年度実施事業【福井市】

- ・足羽山魅力向上計画の策定、足羽山公園や西部緑道の園路整備 (足羽山魅力向上事業 120,800千円)



福井市グリフィス記念館(浜町地区)



白山展望テラス(足羽山)

1-1(3) 一乗谷ミュージアム化の推進

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	～H32

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・月見やぐら跡展望所の整備(県、H26) ・一乗谷レストランの整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな博物館の整備(県、～H32) ・特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生(県、～H32) ・中世都市遺跡研究の拠点化(県、H28～) 	

日本最大の戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡において、中世都市遺跡の研究拠点や新たな博物館の整備、一乗谷朝倉氏庭園の再生等を進め、遺跡全体をレベルアップします。



朝倉館の一部を再現

○28年度実施事業【福井県】

- ・新博物館の基本設計、中世都市遺跡の研究拠点化に関する調査・検討、特別名勝庭園再生に向けた調査等

[特別名勝庭園]

朝倉館跡庭園、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園、南陽寺跡庭園
(「一乗谷ミュージアム」化推進事業 115,109千円)

○28年度実施事業【福井市】

- ・新博物館の用地取得
(一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)用地取得事業 134,000千円)

実施中の事業

(遺跡の整備)

復原町並の拡充整備

- ・施設の利用開放や実演展示の実施

遺跡の見える化の推進

- ・露出展示の推進(西山光照寺跡)

立体活用の推進

- ・ビューポイントの整備
- ・山城部へのアクセスの整備

(周辺環境整備)

河川改修(護岸整備)

県道沿いの無電柱化

史跡と調和した自然景観の創造

周遊環境の整備

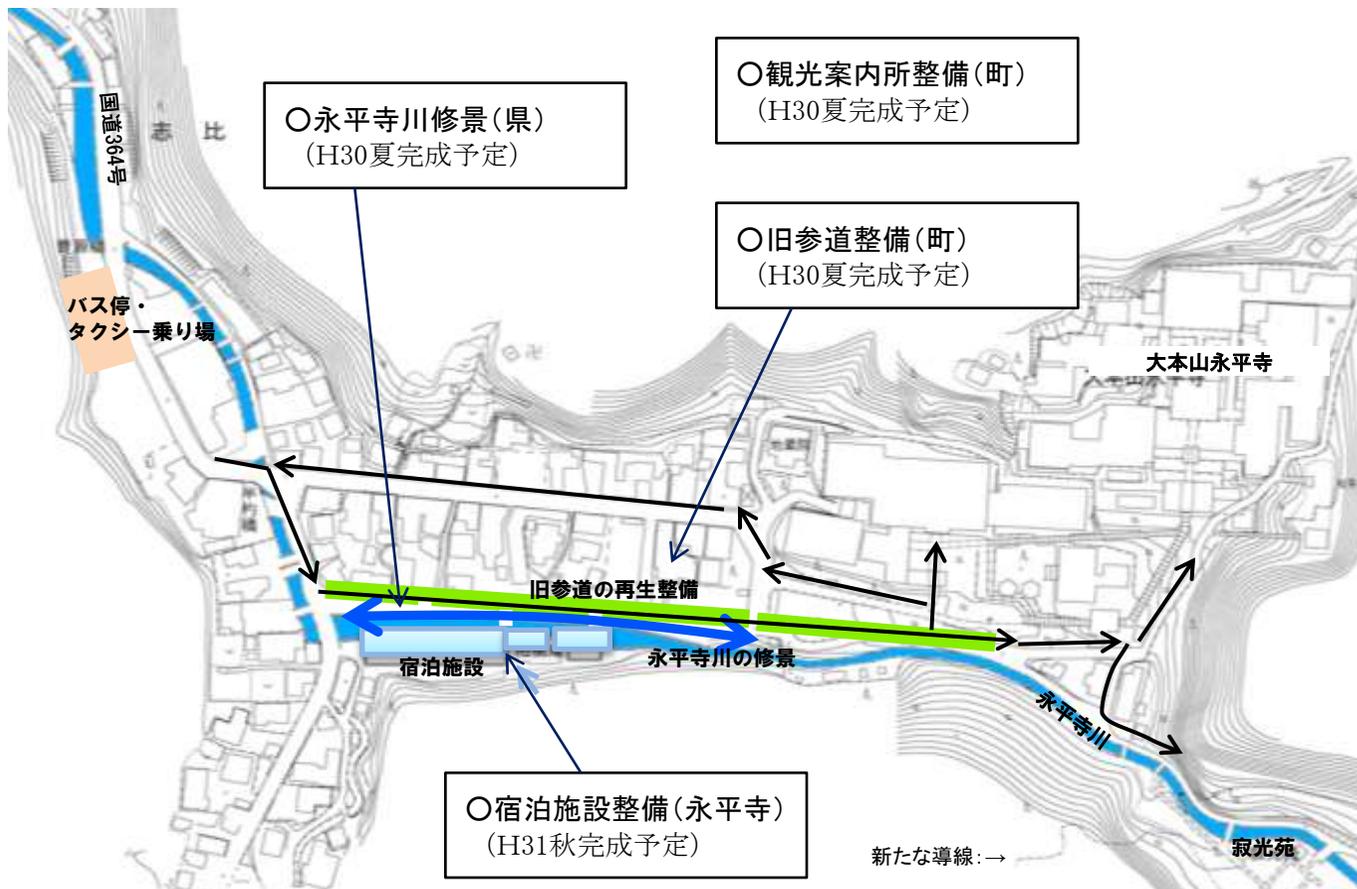
- ・周遊道の再整備
- ・食や土産物を提供する施設の整備

1-1(4) 永平寺門前の再構築

主体	県・永平寺町・民間	場所	永平寺町
事業費	約21億円	期間	～H31

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装の高質化、商店街の外観統一(町、H23) 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設の整備(民間、～H31) 旧参道、観光案内所の整備(町、～H30) 永平寺川の護岸改修(県、～H30) 	

国内外の知名度が高い永平寺において、外国人観光客に対応した宿泊施設整備を核として、旧参道の再生、永平寺川の修景などを一体的に行い、永平寺、永平寺町、県が協力して、禅(ZEN)を体感できる環境を整備します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - 永平寺町が行う旧参道整備への支援 (観光まちなみ魅力アップ事業 63,913千円)
 - 永平寺川の護岸改修 (県単河川維持修繕事業 150,000千円)
- 28年度実施事業【永平寺町】
 - 旧参道の石畳化、無電柱化 (観光まちなみ魅力アップ事業 233,426千円)

旧参道の再生イメージ



永平寺門前の再構築〔永平寺からの誘客〕

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	～H28

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧織物会館をイメージした観光交流拠点の整備(町、～H28) ・多目的広場や散策路のサインの整備(町、～H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大本山永平寺を含む広域的な周遊ネットワーク形成 ・酒蔵の活用など、周辺散策の魅力づくり

松岡藩当時の古町割や町家が残る永平寺町松岡地区において、精進料理に宿る「禅」、九頭竜川の恵みを活かした地域独自の「食」や「酒」を味わい、体験できる新たな観光拠点を整備します。



出所「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト」(永平寺町)より

- 28年度実施事業【福井県】
 - ・永平寺町が行う交流広場整備等への支援(ふるさと創造プロジェクト 40,140千円)
- 28年度実施事業【永平寺町】
 - ・交流広場や散策路サイン等の整備(ふるさと創造プロジェクト事業 178,525千円)



映像による観光情報、禅・歴史・文化の発信(H27～)

旧織物会館の意匠を踏襲した拠点施設の整備(H27～)

- ・地元物産品(ごま豆腐、地酒等)の販売
- ・演奏会等の定期的なイベントの開催
- ・地域の食の提供
- ・地域の歴史・文化、生業等の紹介

1-1 (5) 越前海岸の周遊観光ルート化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	継続実施

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・右近家離れの整備(南越前町、H27) ・国民宿舎鷹巣荘のリニューアル(福井市、H26) ・三国湊の町屋活用(坂井市) ・道の駅の整備(市町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「北前船主通り」国道側の景観整備(南越前町、～H28) ・里山里海湖の広域景観の形成(県、H28～) ・パイプラインによる農業、園芸振興(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ崎周辺整備構想の実現 ・重要文化的景観の選定

北前船寄港地の敦賀湊と三国湊には、独自の食文化や船筆笥などの手工業が育まれてきました。また、日本の棚田百選「梨子ヶ平地区」の千枚田や越前水仙群生地、呼鳥門をはじめとする景勝地、旧北陸本線の隧道(トンネル)群、温泉など、越前海岸線は約80kmの間に多様な魅力を有します。

こうした地域資産をネットワーク化し、越前海岸ラインを新しい観光ルートとして発信します。

○28年度実施事業【福井県】

- ・南越前町が行う北前船主通り整備への支援(ふるさと創造プロジェクト 8,041千円)

○28年度実施事業【市町】

- ・ガラガラ山のキャンプ場の整備【福井市】(ガラガラ山周辺再整備事業 268,173千円)
- ・「北前船主通り」の町道整備等【南越前町】(北前船歴史空間再生プロジェクト 14,674千円)

※ 三国湊周辺整備【坂井市】(P45)、水仙ランド再整備【越前町】(P27)、金ヶ崎周辺整備【敦賀市】(P61)に詳細あり

北前船の歴史



みくに龍翔館リニューアル



北前船主の館 中村家住宅

重要文化的景観
エリアの形成



I-2 新幹線開業対策 芦原温泉駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・芦原温泉駅の二次交通や情報発信機能、物販・宿泊等の商業機能の拡充
- ・東尋坊、あわら温泉に続く観光拠点の創出(吉崎御坊、北潟湖、丸岡城など)
- ・農業用水路のパイプライン化を活かした農業や園芸の拡大

東尋坊の環境整備 (P15)

東尋坊商店街の入口から岩場までの景観形成

- ・東尋坊商店街の石畳舗装、無電柱化
- ・観光交流センターの整備
- ・岩場テラスの安全対策の実施 など

三国湊のまちづくり (P16)

三国湊の歴史・文化の発信、空き町家を活用した古い町並みの再生

- ・古民家ゲストハウスや工房等の整備
- ・ポケットパークの整備
- ・みくに龍翔館のリニューアル など

情緒あふれる温泉街の形成 (P14)

大正から昭和初期の風情を感じる温泉街の散策環境を整備

- ・「芦湯」や藤野巖九郎記念館の整備
- ・石畳歩道や行灯型街路灯の整備 など

公共交通の拡充

- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ

越前海岸の広域観光ルート化【再掲】

広域道路の整備促進

- ・国道8号 福井バイパス
- ・三国東尋坊芦原線
- ・福井港丸岡インター連絡道路 など

芦原温泉駅の周辺整備 (P13)

芦原温泉駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・交流展示施設「aキューブ」の整備
- ・西口、東口駐車場の整備
- ・金沢駅や小松空港との無料バスの運行 など

丸岡城の国宝化

- ・日本一短い手紙の館の整備 など



○主な関連事業の年次計画

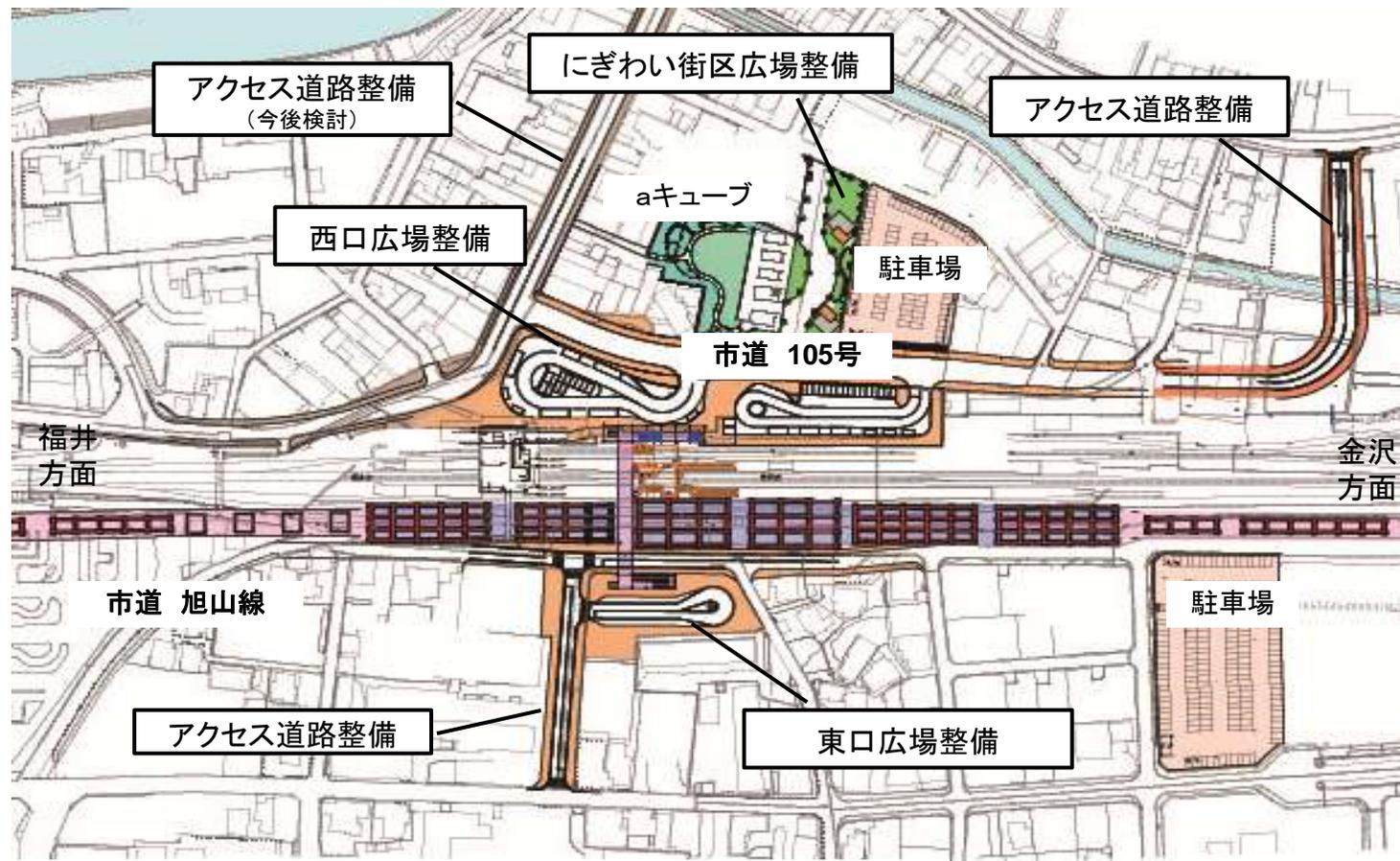
	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
芦原温泉駅	鉄道・運輸機構 — あわら市 約40億円	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎設計			駅舎整備		試験運転等	
		にぎわい街区広場の整備							
		西口アクセス道路の整備							
		西口広場の整備							
		東口広場、東口アクセス道路の整備							
東尋坊・三国港	県 — 坂井市 — 坂井市 — 坂井市 —	三国東尋坊芦原線 (三国町崎～梶)							
		町家活用							
		みくに龍翔館のリニューアル							
		三国駅のリノベーション(H32目途)							
あわら温泉	あわら市 約2億円	街路整備							
丸岡城	坂井市 —	国宝指定の実現							
広域	県・市 — 県 — 県・国 —	周遊・滞在型観光エリアの形成							
		パイプライン活用による農業・園芸拡大							
		広域道路の整備促進							

1-2(1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり

主体	あわら市	場所	あわら市
事業費	約40億円	期間	～H34

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・西口駐車場の整備(市、H21) ・交流展示施設「aキューブ」、ポケットパークの整備(市、H26) ・現駅構内のエレベータ設置(JR、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) ・西口、東口広場の整備(市、～H34) ・アクセス道路の整備(市、～H34) ・にぎわい街区広場の整備(市、～H30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路の整備(県) ・周辺観光地との二次交通の充実

福井の北の玄関口にふさわしい芦原温泉駅を整備するとともに、東西広場やアクセス道路、周辺観光地との二次交通の充実など、地域交通の拠点化を進めます。



○28年度実施事業【あわら市】
 ・駅前広場やアクセス道路等の整備
 (芦原温泉駅周辺整備事業 225,000千円)



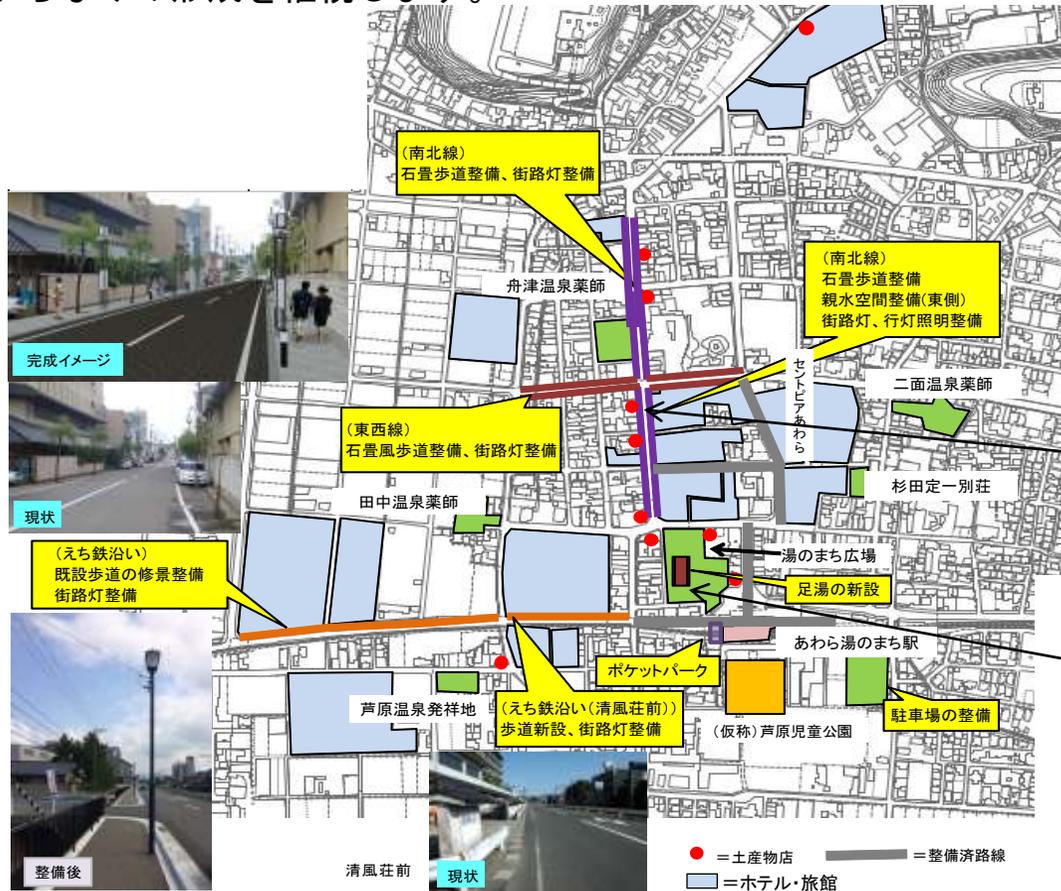
にぎわい広場、交流・展示施設「aキューブ」の整備

1-2(2) あわら温泉街のまちなみ形成

主体	あわら市	場所	あわら市
事業費	約2億円	期間	~H28

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・藤野巖九郎記念館、伝統芸能館の整備(市、H23) ・「芦湯」の整備(市、H25) ・駅前ポケットパーク、駅南口の駐車場整備(市、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉南北線・東西線の歩道の石畳化、行灯型照明の整備(市、~H28) 	

まち歩きが楽しめる北陸随一の温泉街とするため、湯のまち広場の「芦湯」や街路の整備など、温泉情緒を感じるまちなみの形成を継続します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - ・あわら市が行う温泉街整備への支援(観光まちなみ魅力アップ事業 59,233千円)
- 28年度実施事業【あわら市】
 - ・温泉南北通りの歩道石畳化等の整備(温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業 199,446千円)



南北線の整備



「芦湯」の整備

出所「温泉情緒あふれる華やぎのあるまちづくりプロジェクト」(あわら市)より

1-2(3) 東尋坊の景観形成

主体	坂井市	場所	坂井市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路の石畳舗装や無電柱化(県、H23) ・観光交流センターの設置(市、H23) 		<ul style="list-style-type: none"> ・東尋坊、あわら温泉などを周遊する観光ルートの形成

県内最大の観光地である東尋坊において、商店街の空き店舗や空き地の解消とにぎわい創出をめざし、坂井市ゆかりの文人の発信機能やポケットパーク等の整備を検討します。



〔施策の方向〕

東尋坊商店街の空き家、
空き地の解消



荒磯遊歩道との周遊促進



ゆかりの文人の記念碑



1-2(4) 三国湊の町家活用

主体	坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 古民家ゲストハウスや工房・ショップ、ポケットパーク等の整備(市、H27) 小松長生氏生家のリノベーション(民間、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> 旧大木道具店の再生(市、H28～) みくに龍翔館のリニューアル(市、H28～) えちぜん鉄道三国駅のリノベーション(市、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> 東尋坊、あわら温泉などを周遊する観光ルートの形成

北前船の寄港地として栄えた三国湊において、町家を再生して趣を感じるまちなみを形成します。



出所「三国湊町家活用プロジェクト」(坂井市)、「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、坂井市ホームページより



坂井市全体の博物館としてみくに龍翔館をリニューアル(H28基本構想策定)

○28年度実施事業【坂井市】

- みくに龍翔館リニューアルの基本構想策定、三国駅・駅前広場の基本設計(三国駅周辺整備事業など 110,893千円)

三国湊のまちなみ再生



アレックス・カー氏監修の古民家ゲストハウス改修



旧大木道具店再生の提案を募集

1-2 (5) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大

主体	国、坂井市	場所	坂井市
事業費	約3億円～	期間	継続実施

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川下流地域パイプラインの整備 (国、～H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆりの里の園内水路や散策道、農産物直売所の整備 (市、～H29) ・パイプラインを活用した米や園芸生産物の生産拡大とブランド化 (県、H28～) 	

パイプライン化の完了を受けて、高食味米の生産や水田園芸の拡大など、収益性の高い農業への転換を進めます。また、現代農業遺産のシンボルとして、ゆりの里公園の調圧水槽をライトアップするとともに、農林水産物の直売所や農家レストランを整備し、地域の特産物を提供するなど、坂井エリア一帯のブランド化を推進します。



○調圧水槽、公園内水路のライトアップ

○ゆりの里公園の園内整備
調圧水槽を活用した公園内の水路整備、散策道整備等

○農家レストラン、農産物直売所の整備

○28年度実施事業【福井県】

- ・坂井市が実施するゆりの里公園整備を支援 (農村振興総合整備統合補助事業 165,000千円)
- ・メガファーム化、水田園芸を行う集落営農組織の育成等 (九頭竜川下流地域における農業振興 419,428千円)

○28年度実施事業【坂井市】

- ・園内水路や散策道、農産物直売所を整備 (農山漁村活性化プロジェクト支援事業 240,200千円)

I-3 新幹線開業対策 南越駅(仮称)周辺エリア

○エリアの方向性

- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興
- ・南越駅と周辺市町、観光地との道路や公共交通ネットワークの整備



公共交通の拡充

- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ

水仙ランド周辺の景観づくり (P27)

- 越前海岸の景観を活かした観光名所形成
- ・絶景ポイントの整備 など

越前ものづくりの里プロジェクト (P24)

- 伝統工芸の産地における拠点や産地全体の連携拠点を整備
- ・サンドーム福井の再整備
 - ・越前古窯拠点(旧水野邸)の整備
 - ・漆器工房の見える化
 - ・紙の文化博物館の再整備
 - ・越前打刃物拠点施設の整備 など

北前船の歴史空間の再生 (P9)

- 北前船の歴史を核としたまちなみを整備
- ・右近家離れの再整備
 - ・北前船主通りの舗装高質化
 - ・馬借街道のトレイルコース整備 など

今庄宿の歴史空間の再生 (P26)

- 宿場町や鉄道のまちの風情が感じられる町並みの保存、景観整備
- ・北国街道の道路舗装の高質化 など

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

広域道路の整備促進

- ・国道476号 持越バイパス
- ・国道417号 冠山峠道路 など

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～	
南越駅 (仮称)	鉄道・運輸機構 —		駅舎設計			駅舎整備		試験運転等		
	県・越前市 —		駅前広場、アクセス道路等の整備							
武生駅	越前市 —		新庁舎の整備							
	越前市 —		タンス町通りの整備							
鯖江駅	鯖江市・民間 —		鯖江駅周辺の再開発							
ものづくりの里	県 約4億円	サンドーム 福井の再整備								
	県 約8億円	越前古窯拠点整備								
	越前市 約1億円	紙文化博物館								
	越前市 —	越前打刃物の産地拠点施設の整備								
旧街道・県境	南越前町 約6億円	今庄宿の整備								
	越前町 約1億円	水仙ランド								
	国 約57億円 (県想定)	国道417号 冠山峠道路							(県想定)	
広域	県・市町 —	周遊・滞在型観光エリアの形成								
	県・国 —	広域道路の整備促進								

I-3 (1) 南越駅（仮称）および駅周辺のまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	～H34

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎デザインのコンセプト提案(市、H27) ・南越駅周辺整備基本計画の策定(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場、道の駅の機能をもつ施設の整備 ・アクセス道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地や周辺観光地との二次交通の確保

県内唯一の新駅となる南越駅(仮称)を整備するとともに、駅前広場や道の駅の機能をもつ施設、アクセス道路等を整備します。



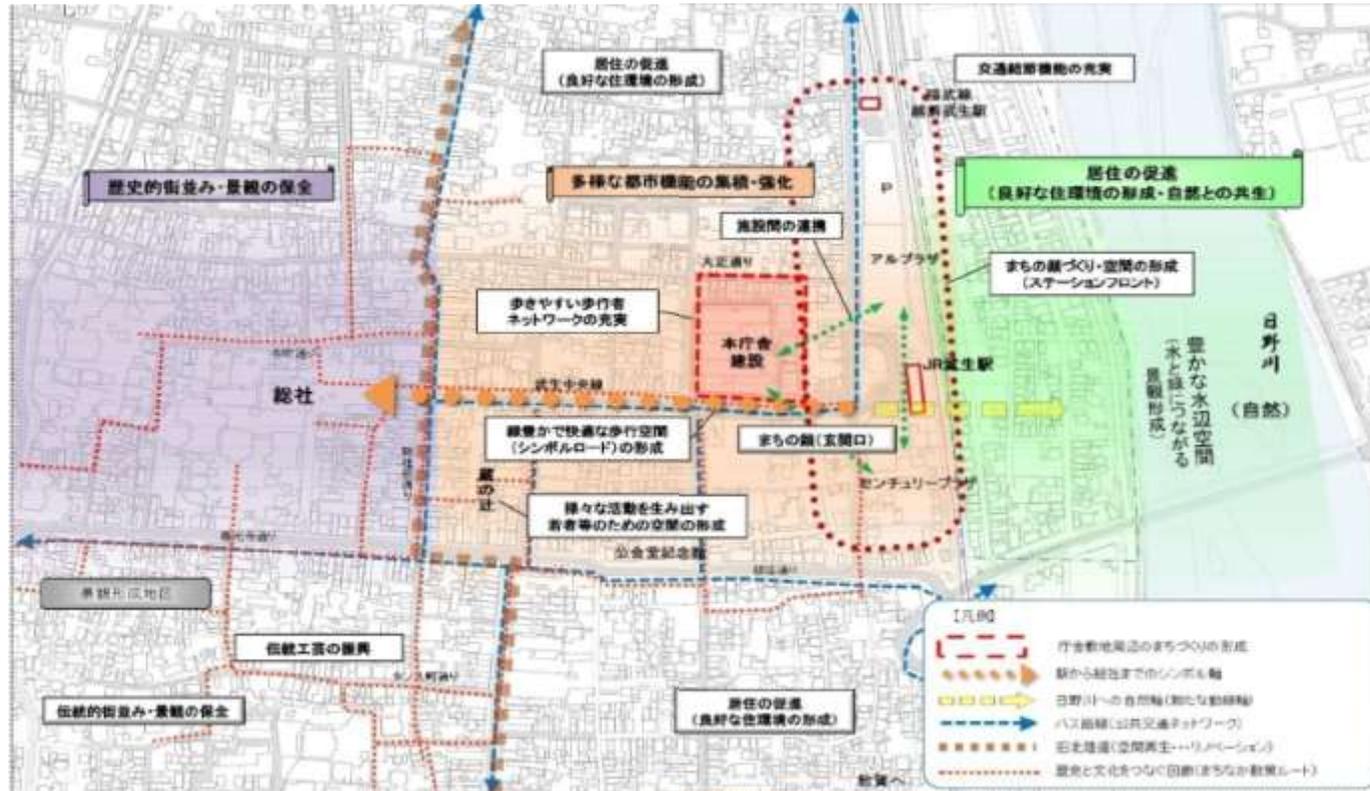
出所「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」(越前市)より

1-3(2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり

主体	越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	~H32

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 蔵の辻広場の整備(市、H13) 	<ul style="list-style-type: none"> 武生中央公園の再整備(市、~H30) 市役所新庁舎の整備(市、~H32) 	<ul style="list-style-type: none"> タンス町通りの整備 いわさきちひろ生誕100年(H30)に向けた生家の活用 福武線鉄道ミュージアムの整備

武生駅周辺には、古代から国府や国分寺、府中城などが置かれ、長く地域の政治・経済の中心地でした。今後とも、現在の市役所庁舎敷地に新庁舎を配置し、武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成し、新しい中心市街地づくりをめざします。



○28年度実施事業【越前市】

- 新庁舎建設の基本設計、中央公園市民広場の整備、紫式部像の修復等(本庁舎建設事業など 954,736千円)



大正～昭和初期の木造建築物の再生(蔵の辻)

1-3 (3) コンパクトな鯖江のまちづくり

主体	鯖江市	場所	鯖江市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入(市、H24) ・学生による滞在型まちづくり活動の実施(市、H25～) ・道の駅「西山公園」の整備(県、H26) 		<ul style="list-style-type: none"> ・再開発事業等による、鯖江駅から西山公園までの導線づくり

県内第3位の観光地になった西山公園と中心市街地を結ぶ導線を民間再開発事業等の手法により整備し、市内への人の流れを拡大します。また、オープンデータやITをまちづくりに積極的に取り入れ、都会的なサービスを提供するなど、若者が住みたくなるまちをめざします。



道の駅「西山公園」の整備



JR鯖江駅「えきライブラリー」の設置・運営



「さばいぼアプリ」など、双方向型連携手法の活用

1-3 (4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化

主体	県・市町	場所	越前市他
事業費	約13億円	期間	～H30

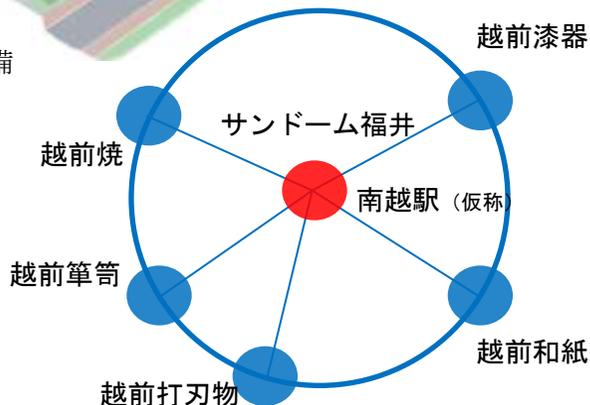
これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 漆器工房の見える化、空き家を活用した交流拠点の整備(市、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> サンドーム福井へのデザインセンターの移転と産業振興・人材育成拠点機能の整備(県、～H28) 旧水野家住宅の移築整備、水野コレクションの展示(県、～H29) 紙の文化博物館のリニューアル(越前市、H28) 越前打刃物の産地拠点の整備(越前市、～H30) 	<ul style="list-style-type: none"> 河和田地区の漆器の森づくり 伝統工芸品集積群の日本遺産認定 世界無形文化遺産への「和紙」の追加登録、「漆文化」の登録 南越駅(仮称)周辺を交流起点として整備

丹南エリアには、越前和紙や越前漆器など、5つの伝統工芸産地が集積しています。県の「越前ものづくりの里プロジェクト」を越前市の「工芸の里構想」などと一体的に推進し、各産地における発信拠点の整備、産地間や近隣観光地との周遊ルートづくりを進めます。

越前焼産地



越前古窯拠点の整備
 ・旧水野家住宅の移築
 ・収蔵庫、茶室の整備



越前漆器産地



・漆器工房の見える化
 ・小型山車の製作
 ・河和田アートキャンプの実施

越前和紙産地



紙の文化博物館のリニューアル
 ・紙道具類など、重要文化財の展示
 ・和紙を使った日本画などの展示

○28年度実施事業【福井県】

- ・サンドーム福井へのデザインセンターの移転、作業エリア等の整備 (サンドーム福井ものづくりキャンパス整備事業 400,940千円)
- ・旧水野家住宅、資料館等の整備 (越前古窯拠点整備事業 616,658千円)
- ・伝統工芸産地連携によるPR等 (越前ものづくりの里プロジェクト 28,237千円)
- ・越前市が行う紙の博物館改修への支援 (ふるさと創造プロジェクト 62,000千円)

○28年度実施事業【市】

- ・紙の博物館の改修、打刃物拠点施設の基本計画の策定【越前市】 (工芸の里構想推進事業 110,100千円)
- ・河和田地区の産業観光の推進【鯖江市】 (河和田工房巡り産業観光事業 1,800千円)

1-3 (5) 南条SAの集客力の活用 (提案中)

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	約10億円	期間	~H30

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 南条スマートICの整備 (民間、H21) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興施設の整備 (町、~H30) 南条スマートICのアクセス道路整備 (町、~H30) 	

県内唯一のサービスエリアとして年間700万人が利用する北陸自動車道・南条サービスエリア(SA)において、高速道路からも一般道からも利用可能な物販施設や情報発信施設等の整備を、国土交通省のモデル事業に提案しています。



○28年度実施事業【南越前町】

- 地域振興施設整備の基本計画の策定
(南条SA周辺地域振興施設整備事業 12,978千円)

出所 南越前町作成

1-3 (6) 今庄宿の歴史空間の再生

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	約6億円	期間	~H29

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・北国街道の道路空間整備(町、H27) ・旧昭和会館の登録有形文化財の登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・京藤甚五郎家を活用した交流施設、昭和会館やJR今庄駅舎の改修(町、~H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成

今庄宿の歴史的なまちなみを保存し、旧北国街道宿場町の景観を再生します。

○昭和会館等の改修・修景整備

- ・宿場町の魅力発信拠点として、今庄宿の保存・活用（歴史文化の展示や住民、観光客の交流の場）

○JR今庄駅舎改修（H28）

- ・今庄駅横へガイダンス施設を増設し、観光客の窓口として、今庄宿、鉄道の町等の情報発信

旧昭和会館

常夜燈

堀口酒造

北村酒造

旧旅籠若狭屋(地元NPOの拠点)

JR今庄駅

白駒酒造

島山酒造

今庄支所 SL

■ 伝統的外観が残されている民家等

- 28年度実施事業【福井県】**
- ・南越前町が行うまちなみ整備への支援（観光まちなみ魅力アップ事業 84,497千円）
- 28年度実施事業【南越前町】**
- ・京藤甚五郎家やJR今庄駅舎の改修等（今庄宿プロジェクト 307,184千円）



京藤甚五郎家・斎藤家の保存改修



北国街道の道路空間整備



ガイダンス施設増設イメージ

1-3 (7) 里山里海湖の保全・活用

主体	県・市町	場所	越前町他
事業費	約3億円	期間	～H28

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルコースの設定(県、H27) ・ツリーピクニックアドベンチャーの整備(池田町、H27) ・旧池田第三小学校の改修(池田町、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・越前町の水仙畑イルミネーションの実施、水仙ランドレストランの整備(越前町、H28) ・里山里海湖の広域景観の形成に向けた調査(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観の選定

ふくいの里山や周辺の名所・旧跡を巡るトレイルコースの設定など、里山里海湖の体験施設の整備を進めます。

○Satoyamaトレイルコースの整備

越前海岸～府中 古道コース(約27km)



馬借街道(複線)

馬借街道起点

JR王子保駅

幻の北陸道「塩の道」

馬借街道終点

菅谷峠

ホノケ山

○28年度実施事業【福井県】

- ・越前町が行う水仙ランド周辺整備への支援(ふるさと創造プロジェクト70,436千円)
- ・広域景観重点エリア選定、ガイドライン策定(福井ふるさと広域景観形成事業9,800千円)

○28年度実施事業【町】

- ・おもちゃハウスの「ウッドラボ」(仮称)化、冠荘等の改修【池田町】(池田町木活プロジェクトなど 173,667千円)
- ・水仙ランド内のレストラン整備、イルミネーション実施、各観光施設の再整備の基本構想策定【越前町】(越前水仙を活かしたまちづくり事業など 142,071千円)

○ビューティフル3セット 観光プロジェクト(越前町)



文学資料館をレストランに改修(イメージ)

○ツリーピクニックアドベンチャー(池田町)



アドベンチャーパーク(イメージ)

I-4 新幹線開業対策 敦賀駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及させる基盤づくり(新幹線駅前広場の整備、小浜線や二次交通の拡充など)
- ・海陸交通の要衝としての歴史再生による敦賀港および金ヶ崎地区の再整備
- ・里山里海湖の自然と歴史を体験する三方五湖の観光資源化

広域道路の整備促進

- ・岡山松陵線
- ・敦賀南スマートIC
- ・三方PAスマートIC(仮称) など

金ヶ崎周辺の再生整備(P32)

金ヶ崎地区を拠点として、鉄道と港の歴史を活かしたまちづくりを実施

- ・赤レンガ倉庫、ランプ小屋の整備
- ・市立博物館の整備 など

越前海岸の広域観光ルート化【再掲】

里山里海湖の活用(P33)

里山里海湖の体験フィールドとして、縄文ロマンパーク周辺を整備

- ・里山里海湖研究所の開設
- ・道の駅「三方五湖」の整備
- ・トレイルコースの整備
- ・年縞研究展示施設の整備 など

敦賀駅の周辺整備(P31)

新幹線延伸に向けた敦賀駅周辺の整備

- ・敦賀駅前広場の整備
- ・交流施設「オルパーク」の整備 など

三方PAスマートIC(仮称)

里山里海湖の活用(P33)

里山里海湖の体験フィールドとして、新庄地区を整備



○主な関連事業の年次計画

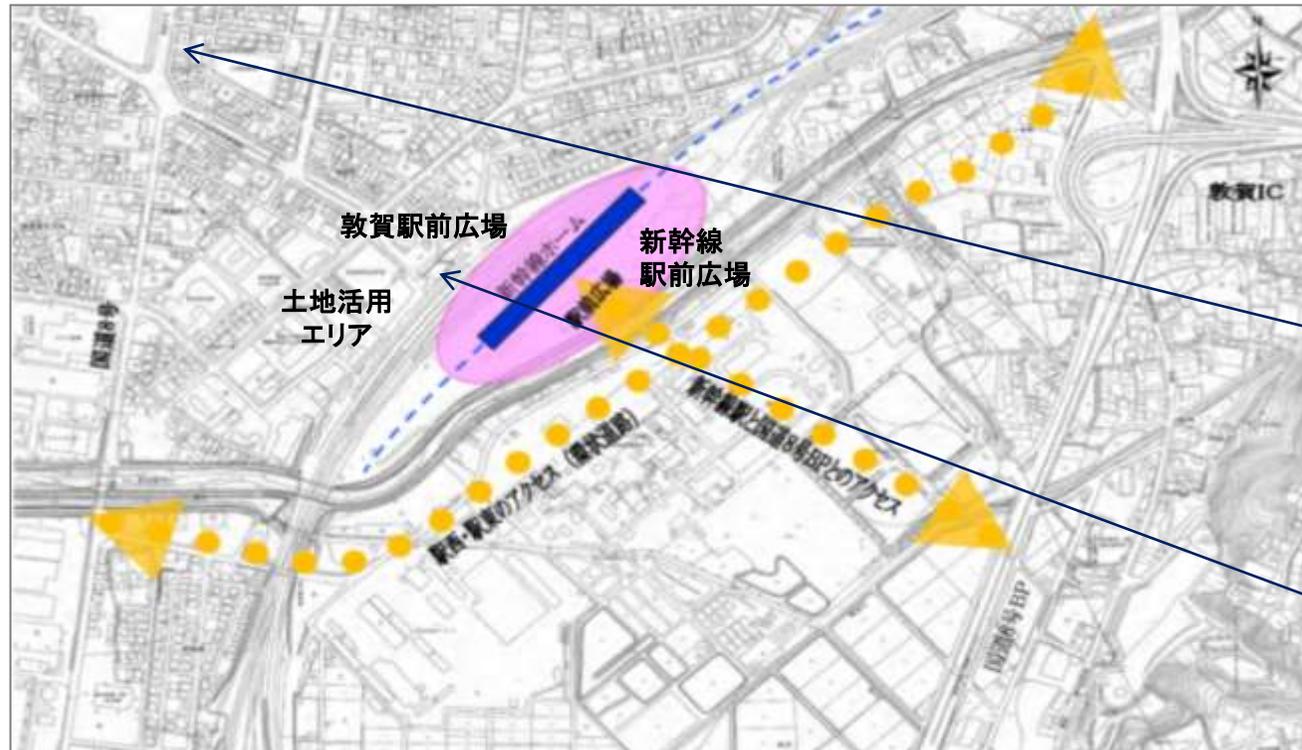
	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
敦賀駅	鉄道・運輸機構 — 県・敦賀市 — 敦賀市 —	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎設計			駅舎整備		試験運転等	
						新幹線駅前広場、アクセス道路等の整備			
						駅西地区土地利用エリアの整備			
敦賀港	県 約2億円 敦賀市 — 敦賀市 — 県・敦賀市 —	クルーズ船 受入施設							
						金ヶ崎城址の保存活用			
						氣比神宮境内、門前の整備			
						金ヶ崎周辺整備構想の実現			
三方五湖	県 —	年縞研究展示施設の整備							
	若狭町 約2億円	縄文ロマン パークの整備							
	若狭町・民間 —	三方PAスマートIC(仮称)の整備							
	県 —	園芸研究拠点の拡充							
	美浜町 約1億円	新庄里地・里山体験施設等の整備							
	美浜町 約5億円	エネルギー環境教育 体験施設の整備							
広域	県・市町 —					周遊・滞在型観光エリアの形成			
	県・国 —					広域道路の整備促進			

1-4 (1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～H34

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・交流施設「オルパーク」の整備(市、H26) ・敦賀駅前広場の整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) ・新幹線駅前広場の整備(市、～H34) ・アクセス道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号の2車線化など道路空間の再構築 ・二次交通の改善 ・駅西地区土地活用エリアの整備

敦賀駅において乗換を行い、北陸と関西、中京間を行き来する旅行客やビジネス客は年間700万人を超えると試算されています。この効果を嶺南全体の観光や産業の活性化につなげるため、敦賀駅前広場や交流施設「オルパーク」に続き、新幹線駅前広場やアクセス道路の整備を進め、新幹線・JR・並行在来線のターミナル駅となる敦賀駅の交通ハブ機能を強化します。



○28年度実施事業【敦賀市】

- ・駅周辺整備構想の検討、国道8号の道路空間の再構築
(駅周辺整備推進事業など 8,544千円)



国道8号の2車線化など、道路空間の再構築



オルパーク

1-4 (2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	約2億円～	期間	～H34

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 赤レンガ倉庫(ジオラマ館、レストラン館)、ランプ小屋の整備(市、H27) 市立博物館の改修(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の受入設備の整備(県、H28) 人道の港敦賀ムゼウムの拡充(市、H28～) 金ヶ崎城跡の保存活用(市、～H34) 氣比神宮境内および門前の整備(市、～H34) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間による往時のまちなみの復元、商業施設誘致の具体化 休止中の敦賀港線の観光利用の検討

赤レンガ倉庫(ジオラマ館およびレストラン館)のリニューアルオープンに続き、さらなる賑わい創出のため、「人道の港」のブランドイメージの形成や明治以降の近代化遺産の活用など、金ヶ崎周辺整備構想を具体化し、実行します。



- 28年度実施事業【福井県】
- ・個店の改修等の支援 (おもてなし商業エリア創出事業 99,381千円の内数)
 - ・鞠山北地区のクルーズ船受け入れ施設の整備 (大型客船寄港にかかる施設整備事業 219,896千円)
- 28年度実施事業【敦賀市】
- ・氣比神宮大鳥居の改修、金ヶ崎城跡の保存活用計画の策定、人道の港敦賀ムゼウムの資料拡充、個店の改修等の支援 (氣比神宮大鳥居保存修理事業など 33,924千円)



ジオラマ館の整備(敦賀市)



金ヶ崎周辺の往時のまちなみ復元(民間)

I-4 (3) 三方五湖の自然と歴史の活用

主体	県・町	場所	若狭町・美浜町
事業費	未定	期間	～H29

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖研究所の開設(県、H25) ・ふるさと学びの森の整備(県、H26) ・道の駅「三方五湖」の整備(県、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年縞研究展示施設の整備(県、～H29) ・三方PAスマートIC(仮称)の整備(若狭町・民間、～H29) ・縄文ロマンパークの散策路等の整備(若狭町、H28) ・新庄里山体験施設の整備(美浜町、～H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産の登録 ・サイクリングコースの拡張

地質学的年代測定の世界標準として認定され、貴重な歴史資産である水月湖「年縞」を教育と観光両面に活用するため、研究展示施設を整備するなど、里山里海湖の活用を強化します。

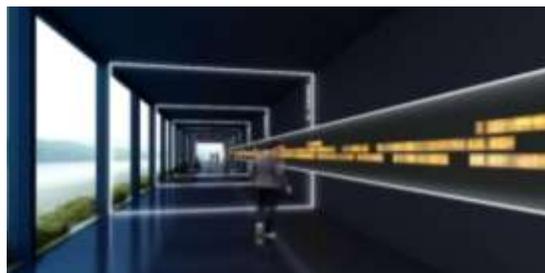


○28年度実施事業【福井県】

- ・年縞研究展示施設の設計、建設着手
(「年縞」活用推進事業 69,197千円)
- ・若狭町が行う縄文ロマンパーク整備への支援
(観光まちなみ魅力アップ事業 46,440千円)
- ・美浜町が行う里山体験施設整備への支援
(ふるさと創造プロジェクト 31,029千円)

○28年度実施事業【町】

- ・縄文ロマンパークエリア内の整備【若狭町】
(観光まちなみ魅力アップ事業 14,800千円)
- ・新庄地区の里山体験施設の整備【美浜町】
(ふるさと創造プロジェクト事業 28,665千円)



年縞研究展示施設の整備



梅・桃の花木植樹

出所「花と光・桃源郷の郷づくりプロジェクト」(若狭町)より

1-4 (4) 園芸・水産の研究と生産の拠点化

主体	県・町・民間	場所	美浜町他
事業費	未定	期間	～H30

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・若狭瓜割エコ住宅団地の整備(若狭町、～H27) ・敦賀市水産加工施設の整備(民間、～H27) ・福井県立大学海洋生物資源臨海研究センターの設置(県、H15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸研究センターの拡充(県、～H30) ・水産学術産業拠点の整備(県、H28～) 	

大規模園芸や果樹栽培の技術開発に加え、薬草等の育成による新たな里山里海湖ビジネスに向けた実証や園芸体験等の拠点となる施設を整備します。

また、水産物の資源管理や陸上養殖などの新たな生産・加工技術の研究を行う、水産分野の学術産業拠点の開設をめざします。



○28年度実施事業【福井県】

- ・薬草展示園、園芸LABO等の基本計画策定
(園芸拠点施設基本計画策定事業 34,008千円)
- ・水産学術産業拠点の基本構想策定
(水産学術産業拠点基本構想策定事業 1,219千円)

○園芸研究センター(美浜町)
※ H28基本計画策定



○若狭瓜割エコビレッジ構想
エコ住宅団地(若狭町)



○水産学術産業拠点(小浜市)
※ H28基本構想策定

- ・資源管理や新たな生産技術等の研究
- ・国際的な水産人材の育成



Ⅱ-1 高規格幹線道路開通対策 中部縦貫自動車道周辺エリア

○エリアの方向性

- ・恐竜ブランドに続く歴史遺産のブランド化(中世の宗教都市、大野城下町など)
- ・恐竜渓谷100万人構想の実現に向けた恐竜博物館の研究や展示、アミューズメント機能の強化
- ・中部縦貫自動車道全線開通を機とする中京圏のものづくり産業との連携強化



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
勝山 I C	勝山市 約5億円	長尾山総合公園の再整備							
	県 約1億円	恐竜骨格化石の充実							
	県 未定	第2恐竜博物館の整備							
	県・勝山市 未定	重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」							
	県・勝山市 約3千万円	商業エリアの個店 改修							
	勝山市 未定	花月楼の活用							
	県 約1億円	越前禅定道の再整備							
大野 I C・大野東 I C	大野市 未定	古民家ギャラリーの整備							
	大野市 約4千万円	越前大野城の整備							
	県・大野市 約4千万円	商業エリアの個店 改修							
	県・大野市 約2億円	六呂師高原の再整備							
	県・大野市 約30億円	重点道の駅「結の故郷(仮称)」							
I C 和泉	大野市 約2億円	化石発掘体験施設の整備							
広域	県・市	周遊・滞在型観光エリアの形成							
	県・国	広域道路の整備促進							

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
アクセス道路	県 約7億円	勝山インター線							
	県 約1億円	国道416号 大日峠道路							
	県 約5億円	国道157号							
	県・大野市 約30億円	重点道の駅「結の故郷(仮称)」							
	県・勝山市 未定	重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」							
産業基盤	大野市 未定	産業団地の整備							

II-1 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	大野市ほか
事業費	約44億円～	期間	～H34

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産・加工施設の整備 (大野市、～H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業団地の整備 (大野市、H28～) ・重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」の整備 (勝山市、～H31) ・重点道の駅「結の故郷(仮称)」(大野市、～H32) 	

中部縦貫自動車道開通により、奥越は中京・東海エリアとの交流のフロンティアになります。

この効果を地域産業の発展や観光誘客につなげるため、各ICから周辺観光地等へのアクセス道路および重点道の駅を整備します。あわせて、IC周辺における新たな産業団地の整備を進めます。

重点道の駅「結の故郷(仮称)」(大野市)



重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」(勝山市)



出所 国土交通省「重点道の駅」ホームページ、報道資料より

○28年度実施事業【福井県】

- ・大野市が実施する新たな産業団地造成に向けた測量・設計等への支援 (産業団地整備事業補助金 17,900千円)
- ・勝山インター線 730,610千円
- ・大日峠道路 10,450千円
- ・国道157号 531,780千円

○28年度実施事業【市】

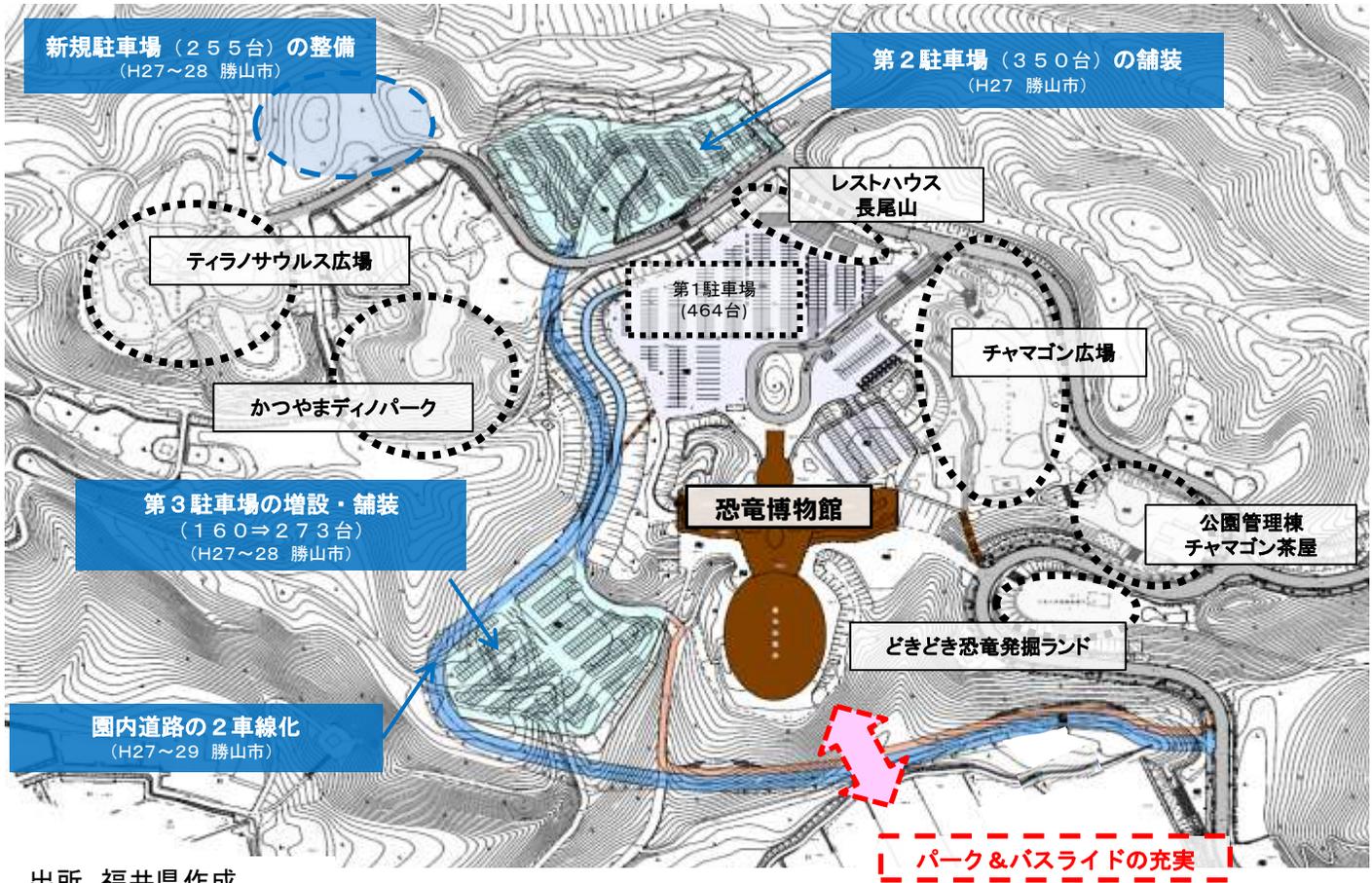
- ・結の故郷(仮称)【大野市】 47,600千円
- ・恐竜渓谷ジオパーク(仮称)【勝山市】 3,814千円

主 体	県・勝山市・民間	場 所	勝山市
事業費	未定	期 間	H28～

II-1 (2) 恐竜渓谷100万人構想の実現

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・野外恐竜博物館の整備(県、H26) ・ディノパークの整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな恐竜実物全身骨格等の展示(県、H27～) ・第2恐竜博物館基本構想・計画の策定(県、H28) ・駐車場増設やパーク&バスライドの充実等の渋滞対策(県・市、H28～) 	

本県ダントツのブランドである恐竜博物館の入館者数100万人の実現に向け、アミューズメントの核となる第2恐竜博物館や恐竜化石の展示拡大などの魅力向上策、公園整備等による混雑対策を実施します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - ・第2恐竜博物館基本構想・計画の策定、新たな恐竜実物全身骨格等の展示、繁忙期のパーク&バスライド (恐竜博物館魅力向上事業 59,824千円) (第2恐竜博物館整備調査事業 9,231千円)
- 【第2恐竜博物館の整備検討 (民間活力の導入可能性を調査)】
 - ・世界トップレベルの学術研究・展示
 - ・世界一のエデュテイメント恐竜博物館
- 28年度実施事業【勝山市】
 - ・観光交流センターや駐車場の整備等 (社会資本整備総合交付金 439,583千円)

恐竜渓谷100万人構想〔恐竜博物館からの誘客〕

主体	県・勝山市	場所	勝山市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 電気機関車テキ6展示施設の整備(市、H25) 勝山駅前広場の整備(県、H23) 	<ul style="list-style-type: none"> 個店の改修等への支援(県・市、～H28) 旧料亭花月楼の再生・活用(市・民間、H28) 勝山駅～恐竜博物館間の直通バス拡充(市・民間、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> 恐竜博物館入館者の県内各地への周遊拡大

恐竜博物館を中心に、まちなか(ゆめおーれ勝山、旧料亭花月楼)、白山平泉寺、重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」を3拠点として、恐竜博物館入館者の周遊を拡大します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - ・個店の改修等への支援
(おもてなし商業エリア創出事業 99,381千円の内数)
- 28年度実施事業【勝山市】
 - ・個店の改修等への支援
(商工振興事業 33,736千円)



勝山駅前の整備

II-1 (3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生

主体	県・勝山市	場所	勝山市
事業費	約1億円	期間	～H31

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」の整備 (市、H24) ・東尋坊跡や土蔵周辺の広場整備 (市、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・越前禅定道の再整備(県、～H31) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一乗谷朝倉氏遺跡とあわせた白山平泉寺の日本遺産認定

中世の宗教都市であった平泉寺地区の景観および散策環境を整備。併せて、福井県側から白山登山ルートへとつながる越前禅定道について、老朽化した階段等の補修や不通区間の解消を進めます。



平泉寺周辺の整備



○28年度実施事業【福井県】

- ・平泉寺白山神社～祓川間の登山道の再整備に向けた調査等 (越前禅定道の再整備事業 9,800千円)



まほろばの整備



交流拠点の整備

II-1 (4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生

主体	大野市・民間	場所	大野市
事業費	未定	期間	～H29

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 越前おおの結駅の整備(市、H21) 城下町南広場の整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> 個店の改修等への支援(県・市、～H28) 古民家ギャラリーの保存整備(市、～H29) 	

歴史あるまちなみの整備に加え、民間事業者による商業基盤施設や歴史的魅力を活かした店舗づくりなどを支援することにより、活気に満ちた越前おおの城下町を再生します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - ・個店の改修等への支援
(おもてなし商業エリア創出事業 99,381千円の内数)
- 28年度実施事業【大野市】
 - ・越前大野城内の改修、古民家ギャラリーの整備、商店街の開業支援、自転車走行空間の整備
(越前大野城歴史空間整備事業など 141,414千円)

歴史的建造物の保存整備



武家屋敷 旧田村家屋敷

商店街の核施設の整備



旧Fマート跡地

主体	県・市	場所	大野市他
事業費	約2億円	期間	～H30

II-1 (5) 六呂師高原の活性化

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
	・スキー体験施設等の整備(県、H28)	・ふれあい動物園の移設

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原のスポーツ施設や学習体験施設の機能強化、周辺環境の整備を促進します。

The map shows the Rokuro高原 area with several key locations marked: 池ヶ原湿原, 奥越高原牧場, 福井県立奥越高原青少年自然の家, (旧)六呂師スキー場, 奥越高原自然保護センター, (旧)妻平ヒュッテ, ミルク工房, うらら館, 妻平湿原, 六呂師山荘, 南六呂師, 六呂師高原簡易郵便局, 六呂師集落センター, 奥越高原ふるさと自然公園, 円山公園 (ふれあい動物園), 高尾山. A red oval highlights the area around the former Rokuro Ski Field and the Rokuro Youth Nature House.

○奥越高原牧場の機能強化
簡易放牧施設の整備
酪農体験期間の拡大

○ミルク工房奥越前の誘客力強化
奥越高原牧場の生乳を利用した
加工体験、イベントの実施

○温浴施設うらら館リニューアル

○28年度実施事業【福井県】
・スポーツ施設や周辺環境の整備
(六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業
118,856千円)

○28年度実施事業【大野市】
・うらら館の再開
(ファミリーリゾート休養施設リニューアル事業
52,971千円)

○奥越青少年自然の家の宿泊利用拡大
・恐竜博物館、六呂師周辺施設と連携
したプログラム開発
・スポーツ合宿、小中学生の宿泊体験等
の拡大

○冬季・夏季の体験メニュー充実
スキー体験エリアの整備
芝生広場の整備

○自然保護センターの機能強化
専任解説ガイドの配置
自然体験活動の充実

Ⅱ-2 高規格幹線道路開通対策 若狭さとうみハイウェイ周辺エリア

○エリアの方向性

- ・日本遺産や寺社仏閣など国宝群をつなげた関西との広域観光ルートの形成
- ・JR小浜線、若狭さとうみハイウェイの活用による敦賀からの誘客強化（観光列車、バスの運行など）
- ・大規模園芸施設や研究開発型企業の誘致等を活かした新たな地域産業の創出



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
小浜 IC	小浜市 約4億円	まちの駅等の整備							
	小浜市 約24億円	小浜縦貫線の整備							
大飯高浜 IC	高浜町 約3億円	城山公園の再整備							
	高浜町 約28億円	新庁舎の整備							
	県・高浜町 約2千万円	商業エリアの個店 改修							
	おおい町 約5億円	きのこの森の再整備							
	おおい町 約2億円	八ヶ峰旅行村の 再整備							
広域	県・市町 —	周遊・滞在型観光エリアの形成							
	県・国 —	広域道路の整備促進							

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
アクセス 道路	敦賀市・民間 －	敦賀南スマート ICの整備							
	県 約18億円	岡山松陵線整備							
	若狭町・民間 －	三方PAスマートIC(仮称)の整備							
産業 基盤	国・県 約180億円	鞠山南2期工事 (～H37)							
	敦賀市 約24億円	産業団地の整備(田結地区)							
	美浜町 約3億円	産業団地の整備 (山上地区)							
	高浜町 約19億円	高浜漁港の再整備							
	高浜町 約15億円	次世代園芸施設 の整備							

II-2 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	敦賀市ほか
事業費	約256億円～	期間	～H37

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・若狭さとうみハイウェイの整備(民間、～H26) ・国道27号金山バイパスの整備(国、～H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山上地区の産業団地の整備(美浜町、～H28) ・田結地区の産業団地の整備(敦賀市、～H29) ・スマートICの整備(民間、～H29) 	

若狭さとうみハイウェイ全線開通などにより、嶺南地域は関西・中京との多重型の環状ルートが形成されています。この二つの大都市圏に最も近い日本海側の地域としての特性を活かし、敦賀港における国際物流の拡大や嶺南地域全体への企業誘致を促進します。

このため、各ICからのアクセス道路やスマートICおよび道の駅の整備・拡張を進めます。あわせて、敦賀港の機能拡張と高速道沿線の新たな産業団地の整備など、一体的な基盤整備を推進します。

敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル(敦賀市)



○28年度実施事業【福井県】

・岡山松陵線	201,600千円
・鞠山南2期	1,045,500千円
・産業団地(田結地区)	363,000千円
・産業団地(山上地区)	137,000千円

○28年度実施事業【市町】

・敦賀南スマートIC【敦賀市】	77,684千円
・産業団地(山上地区)【美浜町】	308,418千円
・三方PAスマートIC【若狭町】	155,956千円
・道の駅【美浜町】	4,313千円
・高浜漁港【高浜町】	50,400千円
・次世代施設園芸【高浜町】	1,500,000千円

II-2 (3) 里山と里海湖の観光ビジネスの強化

主体	県・町	場所	高浜町他
事業費	約11億円	期間	～H31

これまでの成果	来年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 青葉山麓の観光山野草園、ビジターセンターの整備(高浜町、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> 個店の改修等への支援(県・高浜町、～H28) 八ヶ峰家族旅行村の再整備(おおい町、～H28) きのこの森体験学習施設の整備(おおい町、～H29) 城山公園の整備(高浜町、～H31) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の生産拡大 ブルーフラッグの認証取得(和田海岸)

県内の中でも里山と里海湖が最も近接する高浜町、おおい町において、国際認証ブルーフラッグの取得による発信強化、特用林産物や薬草等の体験学習施設を整備します。

また、海産物や林産物等を使う六次化商品の開発、販売促進を応援します。



- 28年度実施事業【福井県】
 - ・おおい町のまちづくりへの支援 (ふるさと創造プロジェクト 77,953千円)
 - ・高浜町における個店の改修等への支援 (おもてなし商業エリア創出事業 99,381千円の内数)
- 28年度実施事業【町】
 - ・薬草ビジネスの研究、ブルーフラッグの活用等【高浜町】 (青葉山健康長寿の里事業など 62,674千円)
 - ・きのこの森の再整備等【おおい町】 (きのこの森再整備など 612,212千円)

青葉山健康長寿の里[ハーバルビレッジ](高浜町)



- ・青少年旅行村をビジターセンターとして再整備
- ・京都大学等と連携した薬草ビジネスの共同研究

きのこの森(おおい町)



- ・町特産のきのこ類の通年型収穫体験施設の整備
- ・「きのこのしり館」学習機能強化

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
二次交通	県 約115億円	えちぜん鉄道の高架化							
	民間 —	新幹線駅等からの二次交通の充実							
	市町・民間 —	広域バスや特急バスの運行							
	県・市町・民間 —								並行在来線の運行・拡充
里山ビジネス	県 —	中山間地域の誘客拠点施設の整備							
	県 約7億円	ふくい農業ビジネスセンターの整備							
文化発信	県・市町 —	日本遺産認定の拡大							
	県・市町 —	アニバーサリーによる発信							
景観づくり	県・市町 —	広域景観重点エリアの形成							
	県・民間 —	屋外広告物の撤去・改修							
	県・市町・民間 —	花の景観づくり							

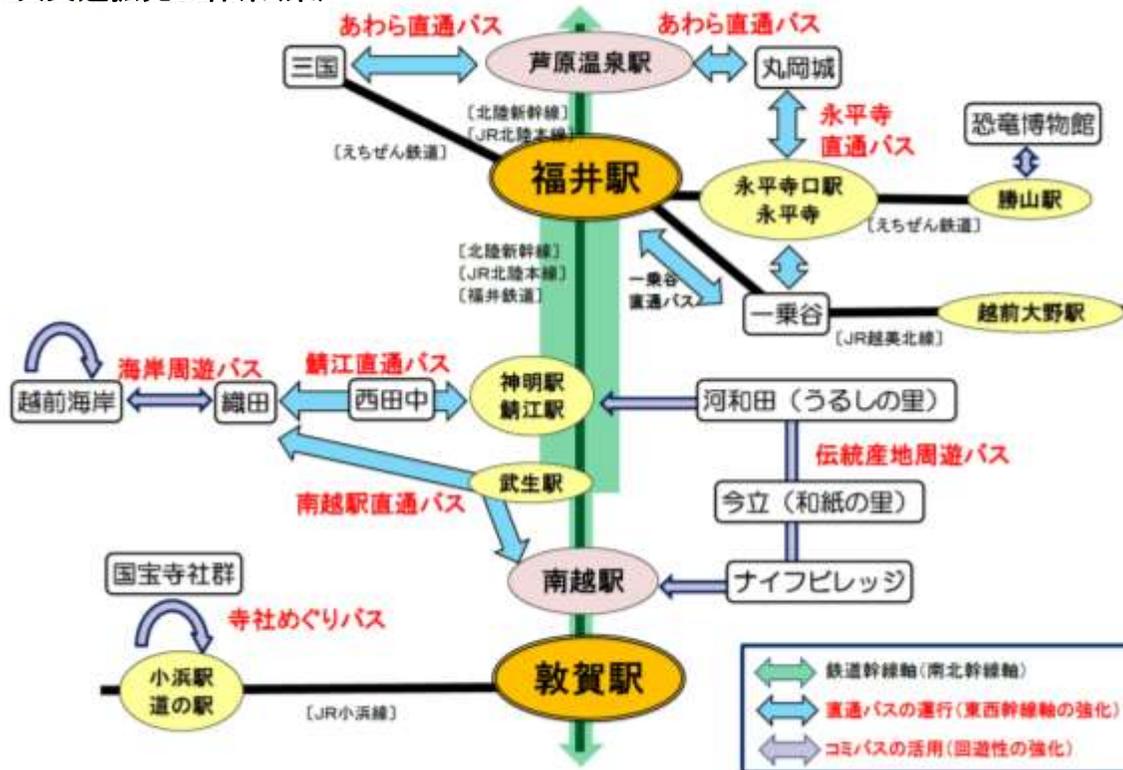
主体	県・市町・民間	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (1) 地域公共交通ネットワークの拡充

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ〔P3再掲〕 ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸〔P3再掲〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・えちぜん鉄道の高架化〔P3再掲〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者と鉄道が共存できる空間や市内循環鉄道の整備の検討〔P3再掲〕 ・休止中の敦賀港線の利用の検討〔P32再掲〕 ・新幹線駅からの二次交通の確保〔P13他再掲〕

新幹線駅を中心として、JR・並行在来線、地域鉄道、バス等を一体的に組み合わせ、利便性の高い地域公共交通ネットワークを実現します。

二次交通拡充の体系(案)



今後の拡充方針

(JR・並行在来線、地域鉄道)

- ・並行在来線、地域鉄道、バスを一体的に組み合わせ経営とサービスを強化
- ・北陸本線の第3セクター化後の新駅設置

(路線バス、コミュニティバス)

- ・市町を超える広域バスの運行
- ・コミュニティバスを休日の観光地循環バスとして活用
- ・福井駅から主要観光地への特急バスを運行
- ・福井市のまちなか観光エリアのバスを低料金化

(その他)

- ・ICカード乗車券の導入
- ・クルマの自動走行の実証・導入拡大
- ・観光客向けカーシェアリングの拡大
- ・道路空間の再配分により、歩行者や自転車の快適な利用環境を確保

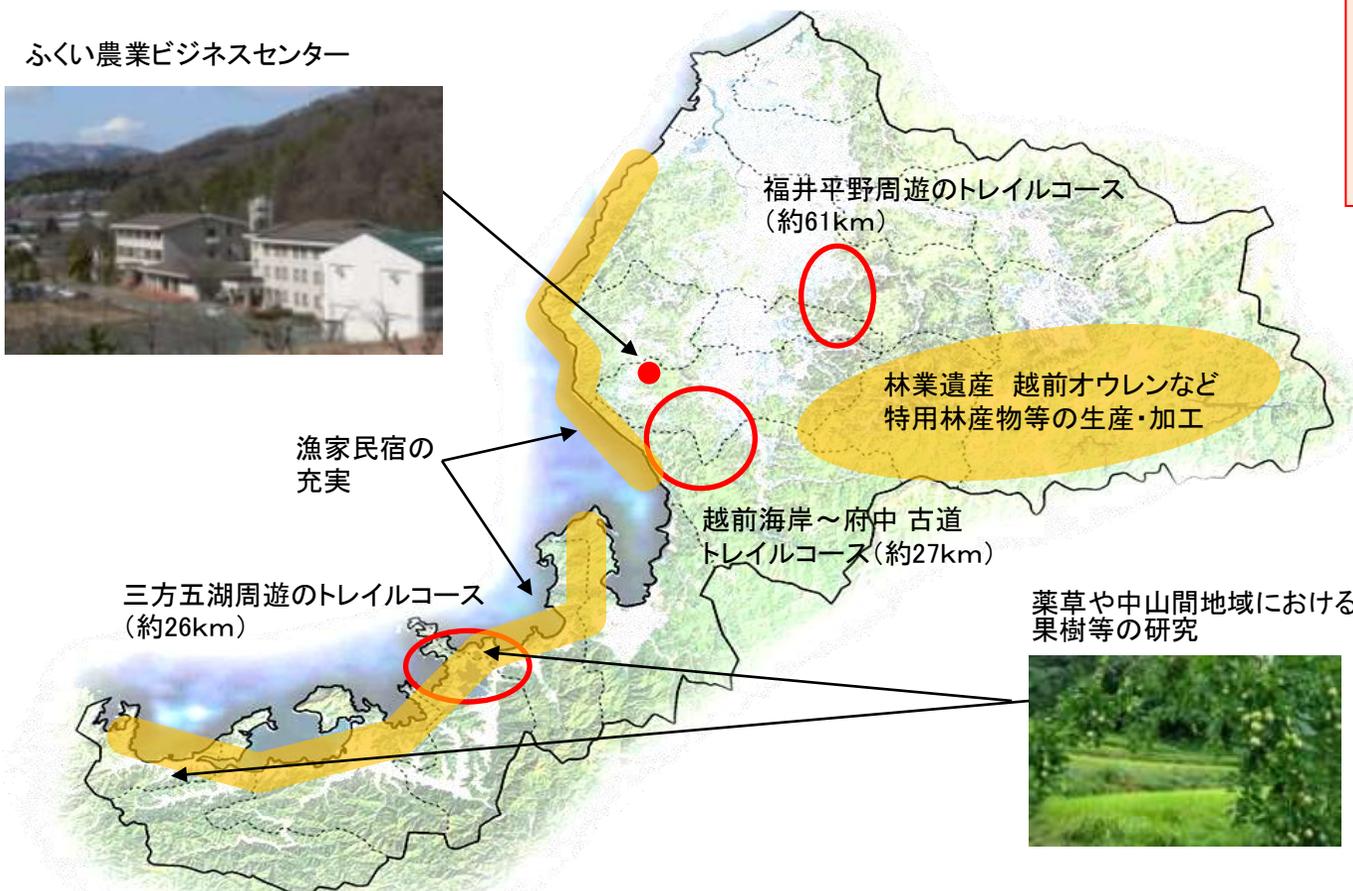
III - (2) 里山里海湖ビジネスの拡大

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	～H30

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模農業者チャレンジ応援基金造成 (県、H27～) ・トレイルコース3コースの整備 (県、H27～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の誘客拠点施設の整備 (県、～H30) ・ふくい農業ビジネスセンターの設置 (県、H28～) 	

福井県の農林水産物の生産はコメが中心であり、園芸や食品関連製造業の育成が必要です。大規模施設園芸等の導入に加え、「利益の上がる農林水産業」に転換するための柱の一つとして、里山里海湖の地域資源を活かした誘客と新商品の開発を一体的に進め、特色ある里山里海湖ビジネスを展開します。

ふくい農業ビジネスセンター



○28年度実施事業【福井県】

- ・中山間地域の誘客拠点施設の整備 (里山里海湖ビジネス推進事業 351,312千円)
- ・「ふくい農業ビジネスセンター」の設置 (新たな農業ビジネス創出事業 361,602千円)



主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」認定 (国、H27) 世界無形文化遺産「和食」登録(H25) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認定申請(県・市町) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認定等とあわせたアニバーサリー事業による全国発信 世界農業遺産や無形文化遺産の登録申請 大河ドラマの誘致

福井県の歴史遺産や伝統文化の価値を、日本遺産や世界遺産への登録等により高め発信し、インバウンド誘客を強化します。また、学術的な調査研究に加え、遺跡復元や周辺の景観づくりを促進します。

世界無形文化遺産
「和食 日本人の伝統的な食文化」
ユネスコ世界無形文化遺産

「和食」の世界無形文化遺産登録に貢献した伝統の福井和食をインバウンドに活用

世界無形文化遺産
「漆文化」の登録申請(予定)

日本遺産
「炎と土の結晶ー日本六古窯ー」
認定申請 (平成28年2月)

世界農業遺産
三方五湖の認定申請(予定)

世界無形文化遺産
「和紙」の追加登録要請

日本遺産
「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群
～御食国若狭と鯖街道～」
(平成27年4月 認定)

日本遺産
「湧水と共に暮らしてきた城下町 越前大野
～大野人が守り続けた水文化～」
認定申請 (平成28年2月)

日本遺産 **世界遺産**
「蘇る中世越前の威風
～戦国にいざなう一乗谷と白山平泉寺～」
日本遺産認定申請(平成28年2月)

日本遺産
「伝統工芸品集積群」認定申請(予定)

○今後の関連アニバーサリー
丸岡城築城440年 (2016年)
白山開山1300年 (2017年)
敦賀港開港120年 (2019年)
一乗谷城下町建設550年 (2021年)
吉崎御坊建立550年 (2021年)
敦賀港線開通140年 (2022年)

主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (4) 里山里海湖の景観の保全・活用

これまでの成果	平成28年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・ふくいふるさと音風景の募集(県、H27) ・福井ふるさと百景の設定(県、H23) ・伝統的民家群保存活用推進地区の設定(県、H23～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域景観重点エリアの選定、広域景観形成ガイドラインの策定(県、H28～) ・国体に向けた花の景観づくり(県、H28～) ・屋外広告物の規制強化(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖を重要文化的景観へ選定 ・新幹線から見える大景観、新幹線を眺めるビュースポットの整備

里山里海湖や伝統的民家のまちなみなど、福井らしい景観を創造し、観光資源として発信します。さらに、新幹線車窓から眺望できる大景観と新幹線を眺めるビュースポットをつくります。

特に、福井国体の開催に向けて、各会場までのアクセス道路における「花の回廊」づくり、観光地周辺や田園地域における屋外広告物の改善を進めます。

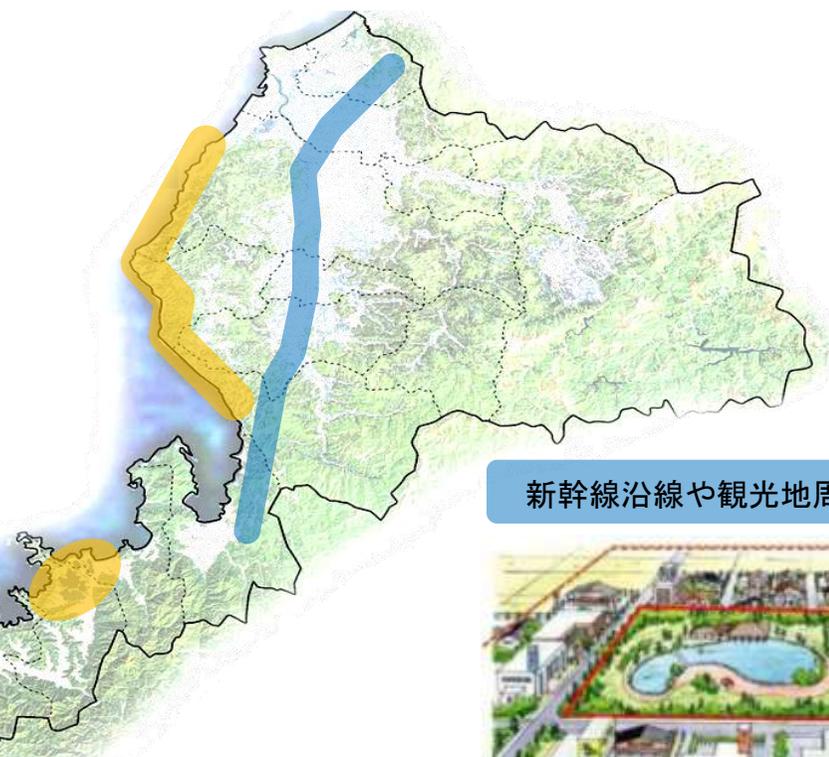
広域景観の形成



越前町梨子ヶ平の越前水仙



三方五湖周辺の梅林



新幹線沿線や観光地周辺の景観形成



○28年度実施事業【福井県】

- ・広域景観重点エリア選定、ガイドライン策定
(福井ふるさと広域景観形成事業9,800千円)
- ・国体アクセス道路の植栽等
(緑と花の県民運動の推進 25,440千円)
- ・屋外広告物の撤去・改修
(屋外広告物景観改善支援事業32,874千円)



観光地周辺における景観改善イメージ

IV 市町等の応援方策

観光やまちづくりの中心は市町であり、県は広域的視点からの取組みを総合化し、県全体として底上げする役割を担います。本冊子に掲げた各プロジェクトを推進するため、市町が地域住民等とともに実行するプロジェクトを県独自の仕組みをつくり、積極的に応援します。

まちづくり関連の主なもの

○ふるさと創造プロジェクト(H24～)

- ・地域資源を活用した市町の魅力ある地域づくりを応援
(事業費総額 約30億円)

○「新ふるさと創造」推進事業(H28～)

- ・ふるさと創造プロジェクトの発展のため、担い手の育成や既存施設の改修を応援

観光関連の主なもの

○観光まちなみ魅力アップ事業(H24～)

- ・伝統的まちなみや地域独自の歴史・文化を活かした観光地のスケールアップを応援
(事業費総額 約52億円)

○周遊・滞在型観光推進事業(H28～)

- ・観光資源をネットワーク化し、エリア全体の誘客力を強化する施策を応援

産業関連の主なもの

○産業団地整備事業(H25～)

- ・敦賀市、美浜町、大野市における産業団地整備を応援

【参考】エリア別プロジェクトの体系

※ 黒字は着手済みの事業 赤字は28年度予算の新規事業等 青字は、今後の検討課題

○北陸新幹線

		福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
福井駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備、 ②高架下活用、 ③駅周辺駐車場の確保(大型バス)	
	駅周辺の整備	①西口再開発ビル整備、②福井駅西口・東口駅前広場の整備、 ③えちぜん鉄道の高架化、④市中央公園の整備、 ⑤山里口御門の復元、⑥個店等の改修		①福井城址公園の整備、 ②足羽山の再整備
	二次交通・道路	①えち鉄・福鉄の相互乗入れ、②永平寺インター道路の整備		①国道158号バイパスの整備
	周辺の拠点整備	①永平寺門前旧参道等の整備、②道の駅「禅の里」の整備、 ③観光交流施設(拠点)の整備(永平寺町)	①朝倉氏遺跡の新博物館の整備、 ②一乗谷朝倉氏庭園の再生	
芦原温泉駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備	
	駅周辺の整備		①駅東西広場の整備、 ②アクセス道路の整備	
	二次交通・道路	①国道8号福井バイパスの整備、②三国東尋坊芦原線の整備、 ③金沢・小松空港との連絡バス、④周遊バス路線の拡充		①福井港丸岡インター連絡道路整備、 ②福井森田丸岡線の整備
	周辺の拠点整備	①三国湊の町家活用、②あわら温泉街の整備、③竹田小の活用、 ④ゆりの里公園の整備、⑤児童科学館リニューアル		①丸岡城の国宝化
南越駅(仮称)	駅舎の整備			
	駅周辺の整備		①越前市役所新庁舎の整備、 ②駅前広場等の整備、 ③アクセス道路の整備	
	二次交通・道路	①国道476号持越バイパスの整備	①国道417号冠山峠道路の整備、 ②バス路線の見直し	
	周辺の拠点整備	①サンドーム福井の再整備、②越前古窯拠点の整備、 ③紙の文化博物館の再整備、④今庄宿の整備、 ⑤右近家周辺の整備、⑥水仙ランドの再整備	①南条SA地域振興施設の整備	
敦賀駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備	
	駅周辺の整備		①駅東広場の整備、 ②アクセス道路の整備	
	二次交通・道路			
	周辺の拠点整備	①赤レンガ倉庫等の整備、②縄文ロマンパークの整備、 ③クルーズ船の受入れ施設整備、④年縞研究展示施設の整備	①金ヶ崎城址の活用、 ②氣比神宮境内、門前の整備	①金ヶ崎周辺整備構想の実現

○中部縦貫自動車道・若狭さとうみハイウェイ・北陸自動車道

中部縦貫自動車道		福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
福井北・	産業基盤の整備	①永平寺インター道路整備(再掲)		
永平寺IC	周辺の観光地	①永平寺門前旧参道等の整備(再掲)、 ②道の駅「禅の里」の整備(再掲)、③観光交流施設(拠点)の整備(再掲)		
大野・勝山IC	産業基盤の整備	①国道157号大野バイパスの整備、②勝山インター線の整備、 ③国道416号大日峠道路の整備	①重点道の駅の整備(結の故郷(仮称)、 恐竜渓谷ジオパーク(仮称)) ②産業団地の整備(大野市)	
	周辺の拠点整備	①恐竜化石展示の拡大、②長尾山総合公園の再整備、 ③六呂師高原の再整備	①越前禅定道の再整備、 ②第2恐竜博物館の整備	
和泉IC	産業基盤の整備	①特用林産物生産・加工施設の整備		
	周辺の拠点整備	①化石発掘体験施設の整備		
若狭さとうみハイウェイ				
敦賀IC	産業基盤の整備	①産業団地の整備(田結地区、山上地区)、 ②敦賀南スマートICの整備、③三方PAスマートIC(仮称)の整備、 ④園芸研究拠点の整備		①敦賀港鞠山南2期事業
小浜IC	産業基盤の整備	①水産学術産業拠点の整備		
	周辺の拠点整備	①小浜市まちなかの駅の整備、②道の駅「若狭熊川宿」の再整備		
大飯高浜IC	産業基盤の整備	①大規模園芸施設の整備、②高浜漁港の整備	①坂本高浜線の整備	
	周辺の拠点整備	①きのこの森の再整備、②城山公園の再整備、 ③八ヶ峰旅行村の再整備		
北陸自動車道【再掲】			①南条SA地域振興施設の整備	①福井港丸岡インター連絡道路整備

○広域プロジェクト・ソフト施策

	福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
公共交通等	①路線バス網の見直し、②ICカード等の導入	①並行在来線の運行充実、 ②観光タクシーの拡充	①自転車の走行空間整備
道路			①若狭さとうみハイウェイの4車線化、 ②地域内道路(再掲)、 ③県境道路の整備(再掲)
産業・商業	①中山間の誘客拠点の整備、②里山ビジネスの研修拠点の整備、 ③観光土産品の開発・発信、④酒蔵等の活用		①企業誘致、 ②個店や商店街の活性化
歴史・文化財	①大河ドラマの誘致	①日本遺産の認定・活用	①伝統的民家の活用、 ②文化財指定の促進、 ③世界遺産の登録
自然環境、景観	①里山トレイルの整備、②花の景観づくり	①屋外広告物の撤去・改修	①重要文化的景観の選定
広域誘客	①Wi-Fiの整備、②京都等との広域観光、 ③教育旅行の受け皿づくり		①コンベンションの誘致

資 料 編

近年の環境変化と開通効果

平成26年7月に、若狭さとうみハイウェイが全線開通し、嶺南地域が一つの高速道路でつながりました。さらに、平成27年7月には、京都縦貫自動車道の開通により、福井県と関西を結ぶ多重型の環状ネットワークが完成しました。

また、平成27年3月には、北陸新幹線が金沢まで開業し、福井県と首都圏とのアクセスが「東海道回り」と「北陸回り」の環状新幹線ルートが形成が進みました。

高速交通開通による交流人口拡大の効果があいまって、福井県の地域ブランドは大きく上昇しています。



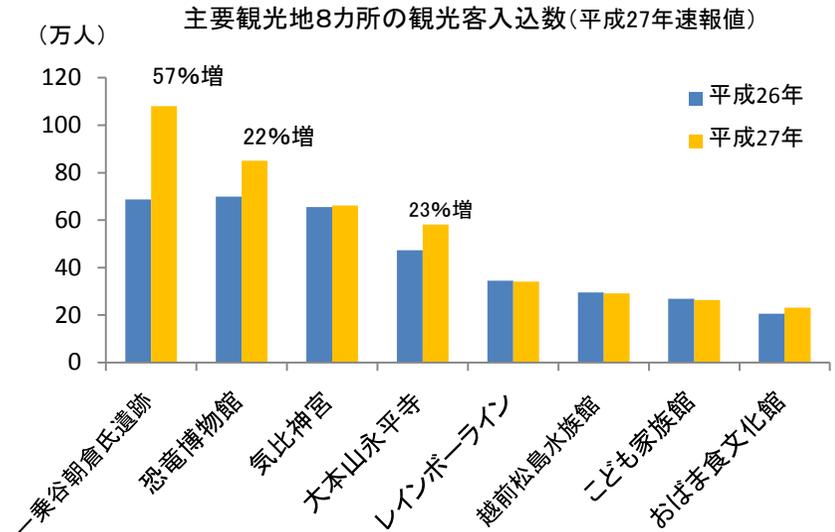
地域ブランド力調査の結果(平成27年9月)

	魅力度ランキング		観光意欲度ランキング	
	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年
福井県	4 5位	2 9位	4 2位	3 6位
石川県	1 1位	1 1位	8位	8位
富山県	2 3位	3 2位	2 8位	1 6位

出典: 地域ブランド研究所「地域ブランド力調査2015」

(1) 北陸新幹線の金沢開業効果

- ・主要観光地8カ所の観光客入込数は、嶺北を中心に増加しました。
- ・平成27年の延べ宿泊数は約12%増と2年連続の増加傾向にあり、1～10月の伸び率は全国13位です。
- ・北陸デスティネーションキャンペーン(平成27年10～12月)中には、北陸新幹線利用者が前年比約3倍(同区間の在来線特急との比較)、サンダーバードが約1割増、首都圏からのツアー客が約9倍となりました。



出典: 福井県、北陸DC実行委員会

(2) 若狭さとうみハイウェイの開通効果

- ・嶺南地域の主要観光地では、開通後1年間の来場者数が約1割増加し、観光消費額は約7.4億円増加しました。
- ・沿線地域において開通以降に操業開始した企業は9件となり、約1,000人の新規雇用が見込まれています。

若狭さとうみハイウェイ(小浜IC～敦賀JCT)開通後1年の交通量

	全日	平日	休日
開通区間の交通量	6,100台/日	5,400台/日	7,500台/日

出典: 国土交通省近畿地方整備局、福井県ほか発表資料

○県内の道路網・産業基盤の現状

広域道路網の現状



産業基盤の現状



○福井県の歴史遺産の分布と時代区分

地域の子な歴史や資産

〔古 代〕

- 5世紀後半 男大迹王（後の継体大王）が三国に入国。507年に河内樟葉宮において即位
- 5世紀ごろ 越前和紙、越前漆器が発祥
- 7世紀ごろ ツナガアラシトが敦賀に渡来（伝承）。渤海使の来航以降、敦賀が対外窓口として機能
- 7世紀後半 越前国の設置（延喜式による格付けは大国）
- 717年 泰澄が平泉寺白山神社を創建

〔中 世〕

- 1244年 道元が大本山永平寺を創建
- 13世紀ごろ 越前焼が発祥。室町時代後期には北国最大の生産地として繁栄
- 1471年 蓮如が吉崎御坊を創建
- 1471年 朝倉孝景が越前守護職に就任。全国屈指の巨大都市・一乗谷と文化的繁栄を実現

〔近 世〕

- 1601年 結城秀康が福井藩68万石の初代藩主として入国
- 幕末期 松平春嶽が幕政改革を実施。藩政では、横井小楠、由利公正等による殖産興業を実行

〔近現代〕

- 1889年 長浜～敦賀間の北陸本線開通
敦賀港の国際港開港（1899年）により、欧亜国際連絡列車（1912～1940年）が運行
- 2016年 現代の先端農業の道を開く、九頭竜川かんがいパイプライン通水



○福井県の自然資産の分布と科学的価値

自然史分野の主な資産

- ・ 恐竜化石 中期ジュラ紀～前期白亜紀（～約1億2000万年前）の手取層群から全国最多の恐竜化石を産出
- ・ 蘇洞門 白亜紀末（～約6550万年前）の花崗岩体が浸食を受け、現在の蘇洞門を形成
- ・ 東尋坊、越前海岸 1500万年前の火山活動により火山岩が堆積し、その後の浸食により、現在の東尋坊を形成
300万年前から越前海岸の海成段丘が発達
- ・ 水月湖「年縞」 7万年前から年代測定の世界標準水月湖「年縞」を形成。最深部は15万年前



県外出身者や観光客へのヒアリング調査の結果

交流人口の拡大をめざした施策の検討のため、福井県内での勤務経験者や観光客を対象にヒアリング調査を実施

実施期間 平成27年12月～平成28年1月

対象者 県外企業の福井支店や県外からの立地企業の支店長等(60名)
地域おこし協力隊やALTなどとして現在、福井県内で就業中の個人(69名)
過去に福井県内で勤務・居住した経験のある個人(9名)
県外観光客(200名)

主な意見

(まちづくり)

- ・福井駅前を観光の核として、集客力あるものを整備してまち歩きができるようにすると良い
- ・県庁を移転して福井城を復元すると良い
- ・福井の歴史は時代が重層的。歴史のつながりが見えると面白くなる
- ・福井駅周辺に高級ホテルが必要 など

(誘客対策)

- ・恐竜博物館の渋滞対策が必要。福井駅から乗り換えなしで行けるようにすると良い
- ・観光誘客のためには北陸3県での連携が必要
- ・福井県民がおもてなしのため地元のことをもっと知り、全員参加型の県民運動として盛り上げていくと良い
- ・外国人観光客は、自然や体験型観光への関心が高い。外国人観光客にターゲットを絞ると良い など

(交通関係)

- ・福井駅発の周遊観光が足りない。観光地を周遊できる公共交通が必要
- ・自動改札が必要。全国共通のICカードも使えると良い
- ・SLなど、越美北線に観光列車が運行できるとおもしろい
- ・観光地でレンタカーを借りられると良い など

福井県高速交通開通アクション・プログラム

平成28年3月

福井県(総合政策部政策推進課)

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

TEL 0776-20-0258

FAX 0776-20-0623

Eメール seisaku@pref.fukui.lg.jp

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/actionpro/actionpro.html>